

# コムワン だより

No. 78  
2018. 8.13

8月、9月が年間で最も台風の発生数が多い月です。台風によって各地で被害が出ております。

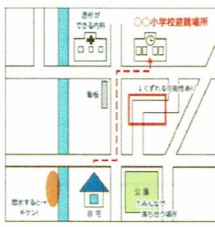
事前に対策を講じることで被害を最小限に抑える事ができ、いざという時に慌てず行動できます。今回、台風の対策についてご紹介いたします。

## 組合での事前準備



### 立地・構造に合わせた対策

マンションにある地域は、平野部・山間部であれば、集中豪雨等が原因で浸水、海・川の側であれば、氾濫や高潮が考えられます。マンションのエントランス部分や駐車場等排水が上手くいかない場所や水害が発生しそうな場所には、あらかじめ土のうや止水板を設置しておきます。



### 各種マップの事前確認

台風の警報が発表された時に、「ハザードマップ」でマンションがある地域の水害等災害危険度がどのくらい高いかを把握しておきます。避難が必要となる場合に備え、事前に避難ルート及び避難場所を確認しておきます。被害が予想されるなら、居住者に周知します。



### 駐車場の事前注意

台風の影響で駐車場の水没や停電となる場合があります。地下ポンプの排水量より雨水の流入量が上回り、車両が水没する危険が高まります。また、停電すると、ポンプのほか機械式駐車場の諸設備が作動しなくなります。事前に利用者に、車を別の場所に移動させるよう呼びかけることが重要です。

## 個人での事前準備



出典: マイカジ

バルコニーの排水溝が葉や土等の詰まりによって排水不良となります。台風の際に雨水が溜まり、室内に入り込むこともありますので、台風前に排水溝のチェックをしておきます。



自転車が暴風によって横転することがあります。フレームが歪んだり、ほかの自転車を傷つけたりするようなトラブルが考えられます。自転車が倒れないように、きちんとスタンドのロック装置がかかっていることを確認しておきます。



強風が室内に吹き込んだり、飛来物が飛んできたりすることによって、窓ガラスが割れることがあります。台風の前に窓の鍵をしっかりと閉め、ガラスが飛散しないように飛散防止フィルムなどの対策をおすすめします。



ベランダに物が置いてあると、暴風によって飛ばされるおそれがあります。物が落下すると、他人を傷つけるおそれがあります。窓ガラスのほか、隣の境に設置されている隔て板が割れる原因にもなります。台風が来る前に、物干し竿などの物を室内に移動させておきましょう。

## 台風通過後の確認事項

1. 台風の後には被害が発生していないか確認しておきましょう。台風で施設等が破損した場合、天候回復後に破損箇所の写真を撮っておきましょう。
2. 台風の後にはバルコニーの排水溝や雨どいに、新たにゴミが詰まっていることもあるので、台風シーズンが終わるまでにこまめにチェックをしましょう。



# コムワンからのお役立ち情報



## 台風前のチェック項目

- 【敷地内】浸水するリスクがある場所に土のうや止水板は用意しましたか。
- 【敷地内】看板やパイロンなどが放置されていませんか。
- 【機械式駐車場】車の水没対策はできていますか(車を安全な場所に移動する等)。
- 【駐輪場】自転車の横転対策として、固定を行いましたか。
- 【バルコニー】排水溝が詰まっていませんか、バルコニーの物を室内に入れましたか。
- 【窓】窓ガラスの破損対策はしていますか(鍵を閉めたり、ガラスに飛散防止フィルムを貼ったりする等)。
- 【部屋浸水】サッシからの雨の吹き込みに備え、サッシ付近に新聞やタオルを敷いていますか。
- 【防災グッズ】停電時に備え、携帯用充電器、懐中電灯は準備しましたか。
- 【避難対策】避難場所、避難経路は確認しましたか。

## 風の速さと吹き方

平均風速(m/s)	10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～30未満	30以上～35未満	35以上～40未満
おおよその時速	～50km	～70km	～90km	～110km	～125km	～140km
風の強さ	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風	
速さの目安	一般道路の自動車		高速道路の自動車		特急電車	
人への影響	風に向かって歩きにくくなり、傘がさせない	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。		屋外での行動は極めて危険	
屋外・樹木の様子	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	電線が鳴りはじめる。看板やタン板が外れ始める。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。		多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	
走行中の車	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	通常で速度で運転するのが困難になる。		走行中のトラックが横転する。	

## 防災グッズ

大型の台風が直撃すると、マンションから出られなくなる可能性があります。さらに停電が起これば、エレベーターが停止して、高層階の住民は下に降りることが困難になる可能性があります。このような状況に備えて防災グッズを確保しておくとい良いでしょう。



出典: <https://sumally.com/p/1316718>  
 避難になる場合、防災リュックと非常食を事前に用意しておく、迅速かつ安全な避難行動をとれます。



台風によって水道が止まってしまう事があります。簡易トイレを備蓄しておく、在宅避難でも清潔なトイレ環境を維持できます。



停電にも外部と連絡、情報入手できるようにソーラー充電バッテリーや多機能ラジオを用意しておくとい便利です。